

研究名： 虐待症例の後方視的研究

1．研究の目的

児童虐待症例の心理・社会的背景を分析し、虐待発生の予防のために医療が介入すべき事柄を明らかにすることを目的とします。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2002年3月～2017年3月末までの虐待対策委員会内により、児童虐待が疑われた患者さんを対象

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月

研究方法：カルテより情報の抽出を行い、虐待事例発生のリスク因子についての調査を行います。

3．研究に用いる情報の種類

患者さんの性別、年齢、虐待種別、転帰、その他の心理・社会的背景等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター　こころの診療部
総合診療部

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、11月30日までに

下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 岸本真希子（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7645）

研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 岸本真希子（責任者氏名）